



かがやく 沢石の子

沢石小学校だよりNo.11

令和5年1月10日発行 発行責任者 校長 久保知之

【教育目標】
学び続ける子ども
自他のよさを認め、つながりあう子ども
自ら心身をつくる子ども

思うは招く

明けましておめでとうございます。2学期後半がスタートしました。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、冬休み明けの「始まりの会」で、株式会社植松電機代表取締役社長
植松 努 氏の「思うは招く」について話しました。



植松 努 氏

植松氏が社長を務める植松電機は、リサイクル用マグネットを製造している会社ですが、北海道
大学と協力しながら宇宙開発事業にも携わっています。植松氏の講演は、全国各地で開催されるだ
けでなく、著書や動画でも広く紹介されています。その一部を紹介します。

「将来の夢は、飛行機やロケットに関わる仕事」と言った子供の頃の植松さんは、「どうせ無
理」「夢みたいなことを言って」とまわりの人に否定されました。しかし、植松さんは、今できな
いことを追いかけるのが夢。できないことをやるのだから失敗はする。失敗はマイナスではない、
成長中であると考えたそうです。また、人は、足りない点があるから助け合える。だから、足りな
いことをバカにしたり、恥ずかしいと思っはいけないとも言っています。

夢を持ち続けて諦めないこと、困ったときに助け合うことができる人間関係が大切であることを
強く感じました。

保護者の皆様、地域の皆様とともに、子供達が夢を実現できるよう応援していきたいと思いま
す。どうぞよろしくお願いいたします。

植松さんの講演は、TikTokやYoutubeで閲覧することができます。「植松努」「思うは招く」で検
索してみてください。

新しい仲間、よろしくお願ひします



うれしいお知らせです。冬休み中、2学年に女子児童1名の転入があ
りました。沢石小学校の仲間が増えたことは大変うれしいことです。

今日の「始まりの会」で全校児童に紹介しました。

児童の皆さん、仲良くしてください。保護者の皆様、地域の皆様、
47名に増えた沢石小の子供達、今まで同様の応援をお願いいたします。